

大野城心のふるさと館年報

2023

—令和5年度—

—歴史と、まちと、人と、想いと—「つなぐ、つながる。」
市民ミュージアム



大野城心のふるさと館

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

大野城心のふるさと館年報

2023

—令和5年度—

目次

はじめに

1 大野城心のふるさと館概要

- 1-1 施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 1-2 組織・職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

2 展示

- 2-1 常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 2-2 ミニテーマ展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 2-3 パネル展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 2-4 大野城コレクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 2-5 特別展・企画展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

3 教育普及

- 3-1 学校連携事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- 3-2 体験型事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- 3-3 団体利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- 3-4 まち歩き事業・文化財公開事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
- 3-5 講座・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- 3-6 ふるさとラボ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- 3-7 研修生等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

4 催し・施設貸出など

- 4-1 にぎわいづくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- 4-2 つながる事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
- 4-3 活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
- 4-4 施設貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
- 4-5 ここふるショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
- 4-6 オリジナルグッズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

5 他機関との連携・交流

- 5-1 大韓民国国立公州大学校歴史博物館学術文化交流協定・・・・・・・・・・33
- 5-2 視察等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
- 5-3 九州大学連携協力推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

6 市民・地域との連携

- 6-1 ふるサポの会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- 6-2 ここふる友の会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- 6-3 山城楽講・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- 6-4 史跡環境整備サポーター事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

7 情報発信・広報

- 7-1 情報発信・広報ツールの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- 7-2 発行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

8 資料収集・調査・貸出

- 8-1 資料の収集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- 8-2 資料の調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- 8-3 資料の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

9 文化財調査・整備

- 9-1 文化財の調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
- 9-2 文化財の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

10 施設管理

- 10-1 I P M管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- 10-2 危機管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

11 統計

- 11-1 施設利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- 11-2 来館者アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

1 大野城心のふるさと館概要

1-1 施設

- (1) 名 称 大野城心のふるさと館
- (2) 所在地 福岡県大野城市曙町3丁目8番3号
- (3) 設置目的 郷土の歴史、民俗等に関する資料の保存及び活用により、市民の郷土の歴史に対する理解を深め、歴史の継承を図るとともに、地域資源を活用した市民の交流促進及び地域の活性化に寄与するため。
- (4) 開館年月日 平成30(2018)年7月21日
- (5) 敷地面積 2,284.62㎡
- (6) 建 物 建築面積 1,333.20㎡ / 延床面積 3,417.15㎡
鉄筋コンクリート造地下1階地上3階
- (7) 開館時間 9時～19時
- (8) 休 館 日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日)、12月28日から1月4日
- (9) 入 館 料 無料 ※特別展は有料
- (10) 案内図



西鉄
西鉄 福岡(天神)駅から特急・急行約10分 ◎西鉄春日原駅より徒歩約12分
J R
J R 博多駅から快速約13分 ◎J R大野城駅より コミュニティバスまどか号 大城ルート乗車 「まどかぴあ」下車すぐ
自動車
◎九州自動車道太宰府IC 大野城方面出口より約6分 ◎福岡都市高速大野城出入口から 大野城方面約10分 ※駐車場は市役所駐車場(無料)を利用

駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

(11) フloor図

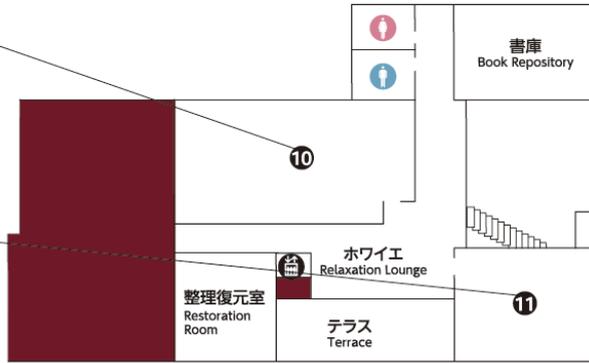
3F 10 企画展示室
Special Exhibition Room

当館や他館の資料を展示する特別展を行います。



3F 11 ふるさとラボ
Local History Room

自加田ライブラリーや郷土資料の閲覧など、より詳しい情報を調べることができます。



3F — 調 Shirabe-Ba



2F 7 牛須須恵器ファクトリー
Ushikubi Sue Ware Hands-on Exhibition

須恵器を焼く窯や工房を再現。牛須須恵器窯跡の概要がわかる展示です。

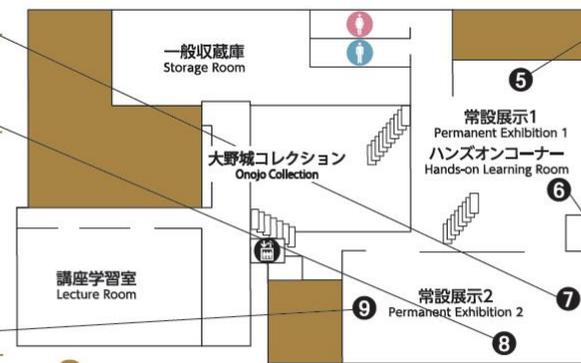
2F 8 水城・大野城シアター
Mizuki & Onojo Castle Ruins Theater

シアター映像や復元模型へのプロジェクションマッピングで、水城・大野城ができた時代に迫ります。



2F 9 ミニテーマ展示
Mini Exhibition

郷土資料や特別展などの内容に合わせた展示を行います。



M2F

2F — 学 Manabi-Ba

2F 5 大野城タイムライン
Onojo Timeline

旧石器時代から現代まで、大野城市の歴史がわかる展示です。



2F 6 百間石垣ウォール・クライミング
Hyakken Stone Wall Ruins, Climbing Wall

大野城跡の百間石垣の一部を再現。隣には高さ7mのクライミングコーナーがあります。(ご利用には初回登録と当日予約が必要です。)



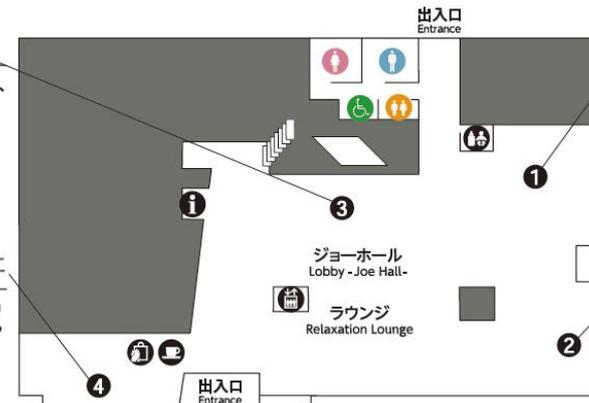
1F 3 大野城ダイナビジョン
Onojo Dynavision

大野城市の歴史や最新の観光情報をお知らせするほか、たのしいミニゲームもあります。



1F 4 ここふるショップ&カフェ
Museum Shop and Café

オリジナルグッズや地域の特産品、推奨品などを取り扱っています。カフェでは市内の団体や飲食店による日替わりランチを提供しています。



1F — 遊 Asobi-Ba

1F 1 こども体験ギャラリー
Kids History Experience Room

ボールプールやすべり台で未就学児が遊べるコーナーやおりがみ・昔遊びなどでみんなが遊べるコーナーがあります。(土日はワークショップも開催しています。)



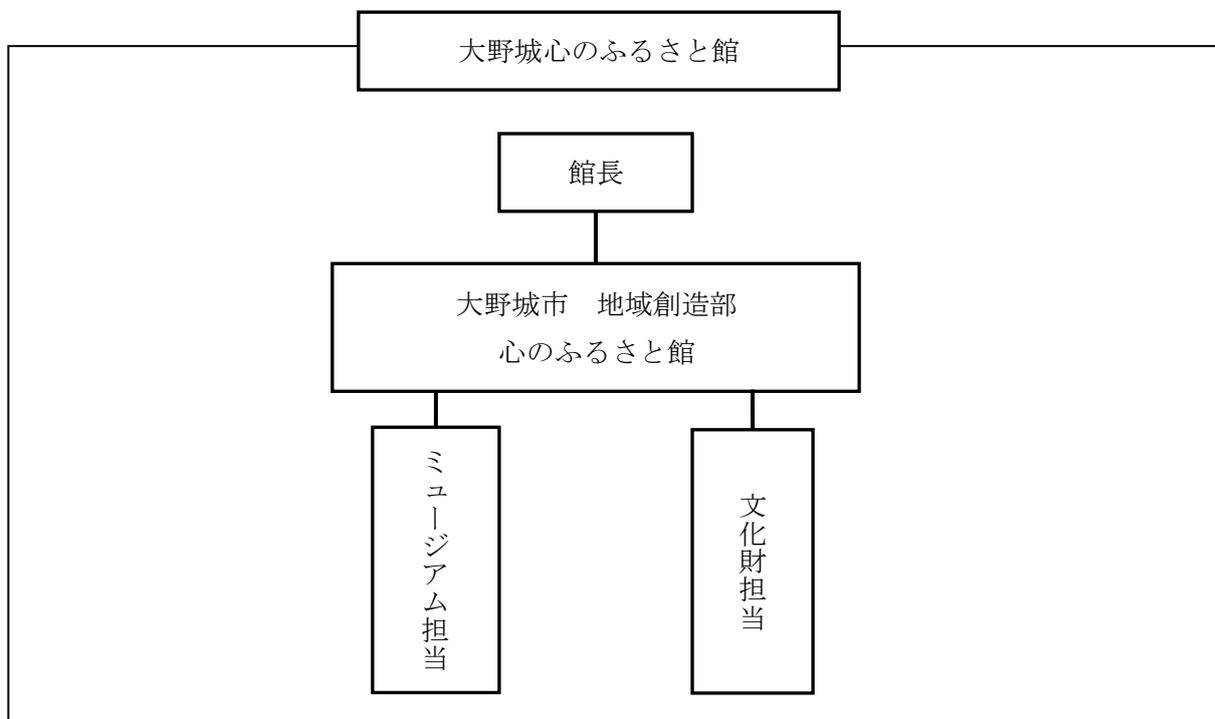
1F 2 昭和の暮らしコーナー
Lifestyle Exhibition of the Showa Era

市内の農家をモデルに、昭和20～40年代のなつかしの暮らしを再現。定期的に展示替えイベントも行っています。



1-2 組織・職員

(1) 運営体制（組織図）



(2) 令和5年度の職員（令和6年3月31日時点）

館長	赤司 善彦		
【ミュージアム担当】		【文化財担当】	
課長	山崎 克博	課長	石木 秀啓
参事補佐兼係長	早瀬 賢※	参事補佐兼係長	林 潤也※
参事補佐兼係長	島 朋宏	参事補佐兼係長	上田 龍児
主任主事	永利 舞	主任主事	下川 みお
主任主事	花房 伸哉	主任技師	山元 瞭平※
主任主事	中藺 眞子	主任技師	龍 友紀※
技師	齋藤 明日香※	会計年度任用職員	清水 康彰
主事	岩本 乃映	会計年度任用職員	澤田 康夫
会計年度任用職員	武下 龍也	会計年度任用職員	石川 健
会計年度任用職員	高橋 俊介	会計年度任用職員	山村 智子※
会計年度任用職員	原口 香那	会計年度任用職員	深町 美佳※
会計年度任用職員	宮田 孝雄	会計年度任用職員	尾川 絢香※
会計年度任用職員	鳥江 結衣※	会計年度任用職員	藤田 香
会計年度任用職員	佐藤 寛※		
会計年度任用職員	今村 杏奈※		
会計年度任用職員	舟山 良一※		
会計年度任用職員	白井 夕美子※		
会計年度任用職員	門井 慶介※		

※学芸員

2 展示

2-1 常設展示

大野城タイムライン

旧石器時代から近現代までの市内の遺跡から出土した遺物や市民からの寄贈品を通史的にコンパクトに展示しており、タッチパネルにより各時代の詳細な解説をみることができる。令和5年度は12月と3月に展示替えを実施した。

《展示資料》貨布、三角縁神獣鏡、人面墨書土器、中国産白磁碗 など

水城・大野城シアター

国の特別史跡である水城跡・大野城跡を模型や映像、プロジェクションマッピングを使ってわかりやすく紹介している。なお、ペンライト型の照明で模型を照らすと水城跡・大野城跡の古代から中世、現代の発掘調査までの歴史のシーンを見ることができるものとなっている。

《展示資料》水城・大野城全景模型、水城西門・太宰府口城門・増長天礎石群・百間石垣再現模型

善一田古墳群と乙金地区遺跡群

市北東部の乙金地区の区画整理に伴い発見された善一田古墳群を中心とした乙金地区遺跡群から出土した資料を「モノづくり」と「交流」をキーワードに展示し、不定期に展示替えを行っている。

《展示資料》鉄刀、新羅土器 など

牛頸須恵器ファクトリー

国史跡である牛頸須恵器窯跡の窯や工房を再現し、生産された須恵器などの資料を展示している。

《展示資料》牛頸須恵器窯跡出土須恵器、へら書き須恵器（福岡県指定文化財）

収蔵展示

一般収蔵庫の壁面を利用して土器や石器、民具などを展示している。設置されたLEDによりカラフルな照明演出をかけることができる。令和5年度は前年度に引き続き「食」をテーマに展示を行った。

昭和のくらしコーナー

大野城市内の民家をモデルに、来館者が家屋に入り、展示品に触れて学ぶことができる昭和のくらしを復元。壁の変更、土間から板間への変更、小物の入替えなどにより、昭和20年代、30年代、40年代の3時代に展示替えが可能で、定期的に展示替えを行った。

年 代	期 間
昭和20年代	令和5年 4月 1日（金）～6月11日（日）
昭和30年代	令和5年 6月11日（日）～11月23日（祝・木）
昭和20年代	令和5年 11月23日（祝・木）～令和6年3月31日（日）

2-2 ミニテーマ展示

地域の歴史や身近な文化財への関心を深めること、郷土への愛着形成などを目的に、市に関連する展示や特別展の内容に合わせた展示などを行った。

大野城心のふるさと館開館5周年記念

「大野村のおかいこさま展」

会 期：令和5年9月26日（火）～11月5日（日）

会 場：ミニテーマ展示、大野城コレクション

内 容：明治以降、筑紫郡は福岡県内でも朝倉郡、八女郡に次いで、養蚕の盛んな地域だった。筑紫郡の中で大野村（現在の太宰市）はトップクラスの繭生産地で、太宰市役所には記念樹として桑の木が植えられている。展示では考古資料から養蚕と日本人の関わり、桑テボや繭毛羽取り器等の収蔵民具資料や『筑紫郡の養蚕』等の文献資料から明治以降の大野村の養蚕について紹介した。

展示資料：養蚕関連資料43点、パネル等

取 材：西日本新聞朝刊9月27日掲載

関連イベント

博多織工場見学会

日 時：令和5年10月18日（水） 13時30分～15時

会 場：㈱はかた匠工芸

参加者数：10人

ギャラリートーク

日 時：令和5年10月25日（水） 14時～15時30分

会 場：ミニテーマ展示、大野城コレクション

参加者数：24人

「ゆかりの人物たち」

会 期：令和5年11月14日（火）～11月27日（月）

内 容：近世から現代まで、ふるさと大野城の地で、地域に多大な貢献をした人と、広く農業・教育・文化の発展に尽くした人の業績とその生涯をパネルで紹介した。

展示資料：高原善七郎、高原謙次郎、竹田貞直、赤司岩雄ら7名の紹介パネルと関係著書4点

新収蔵品展 「福岡県指定有形文化財竹田家所蔵文書展」

会 期：令和5年12月1日（金）～12月27日（水）

内 容：令和5年3月に太宰市へ寄贈された竹田家文書のお披露目のため、福岡県指定有形文化財の『筑前国続風土記』『黒田家譜』『貝原益軒関係書簡』を紹介した。資料保存の観点から会期中に一度展示替えを行った。

展示資料：『筑前国続風土記』巻一・巻八、『黒田家譜』巻一・巻六、「貝原益軒関係書簡」巻一・巻二、竹田家文書についての解説パネル

目加田コレクション 「源氏物語の世界」

会 期：令和6年1月6日（土）～2月4日（日）

内 容：令和6年1月から放送された大河ドラマ「光る君へ」にあわせて、目加田さくを氏が研究した『源氏物語』関係資料の中から、『源氏物語絵巻』（複製）や『源氏物語』写本の影写本を中心に展示した。資料保存の観点から会期中に一度展示替えを行った。

展示資料：『源氏物語絵巻』（複製）、『源氏物語』（複製）、『絵入源氏物語』（複製）、『おさな源氏』（複製）など8点、ほか解説パネル4枚

目加田コレクション 「三十六歌仙」

会 期：令和6年1月6日（土）～2月4日（日）

内 容：目加田さくを氏が研究していた和歌集に関する資料から、「若宮八幡宮三十六歌仙絵」（複製）、三十六歌仙の和歌などを紹介した。資料を適切な環境で保存するため、会期中に一度展示替えを行った。

展示資料：「若宮八幡宮三十六歌仙絵」（複製）、『三十六人家集』（複製）、『古今和歌集』（複製）など8点、ほか解説パネル4枚

2-3 パネル展

ちくし再発見 ちくしまいり～江戸時代のくらしと信仰～

会 期：令和5年11月3日（祝・金）～11月19日（日）

内 容：筑紫地区の近世に関連した文化財にスポットを当て、「くらし」と「祈り」の2つのテーマに分けて紹介した。

日本遺産 古代日本の「西の都」の風景 写真展

会 期：令和5年12月5日（火）～12月17日（日）

内 容：日本遺産 古代日本の「西の都」の構成文化財は、国特別史跡水城跡や大野城跡など市境を越えて広がっている。第21回太宰府の香り・風景写真コンテスト入選作品パネル15枚と大野城市内の日本遺産構成文化財写真パネル12枚、計27枚を展示し、日本遺産関連のチラシやパンフレット等を配架した。

2-4 大野城コレクション

可動式棚を利用して、作品や収集品等の展示を行った。貸館として、一般利用者の利用も可能。

令和5年度の使用実績			
タイトル	会期	内容・展示資料	主催
ここふるガールズコレクション展	令和5年 2月21日（火） ～4月2日（日）	ひな祭りの人形飾りの定番のお雛様のほか、全国の郷土玩具から伝説のお姫様や女の子を紹介。	大野城市

タイトル	会期	内容・展示資料	主催
MONO Lab. (モノラボ) パネル展	令和5年 4月22日(土) ～4月30日(日)	団体の活動をパネルにて展示・紹介。	おおのじょう MONO 創り Lab. と大野城市の共催 (つながる事業)
どうなる もののふ展	令和5年 5月2日(火) ～5月28日(日)	全国の土人形から様々な武者人形や金太郎人形を展示・紹介。	大野城市
開館5周年の軌跡展	令和5年 5月30日(火) ～7月2日(日)	大野城心のふるさと館の開館から現在まで、5年の間に起こった出来事や事業をすごろく形式で展示・紹介。	大野城市
ミニチュア埋蔵文化財展	令和5年 7月5日(水) ～8月6日(日)	ミニチュアの埋蔵文化財(土馬、土製模造鏡等)を展示・紹介。	大野城市
開館5周年記念シンポジウム関連展示「水の中からこんにちは!」	令和5年 8月10日(木) ～9月3日(日)	開館5周年を記念した水中遺跡のシンポジウムに関連する水中遺跡の紹介や出土した遺物の展示。	大野城市
まどかの宝さがし	令和5年 9月5日(火) ～18日(祝・月)	市特産品・推奨品のPR展示。	大野城市
大野城市の養蚕	令和5年 9月26日(火) ～11月5日(日)	明治以降の大野村の養蚕について展示・紹介。	大野城市
開館5周年記念展示「おおのじょうだいすき展」	令和5年 11月14日(火) ～12月24日(日)	市立保育所に通う5歳児が大野城市の文化財や史跡等をテーマに制作した作品の展示。	大野城市
レトロ絵葉書展「温泉天国 九州」	令和6年 1月6日(土) ～3月3日(日)	九州の13か所の温泉地の絵葉書の展示と各温泉地にまつわる伝説や習俗、歴史について紹介。	大野城市
岩手県復興ポスター展	令和6年 3月12日(火) ～24日(日)	東日本大震災津波からの復興の歩みを進める岩手の姿と魅力を県外に向けて発信するポスターを展示。	大野城市
ユニバーサルアート Week	令和6年 3月26日(火) ～31日(日)	放課後等デイサービスの子どものたちの作品展示。	個人(貸館)

2-5 特別展・企画展

令和5年度開催の特別展・企画展

特別展・企画展名	会期
大野城心のふるさと館開館5周年記念特別展 「白木原ベースサイドストーリー ～町のなかのアメリカ文化、そしてPOP吉村伝説の誕生～」	令和5年 4月25日(火) ～6月18日(日)
大野城心のふるさと館開館5周年記念特別展 「MINIATURE LIFE展－田中達也 見立ての世界－」	令和5年 7月22日(土) ～9月3日(日)
大野城心のふるさと館開館5周年記念特別展 「国宝平原王墓出土大鏡の世界 ～なぜ人々は鏡に魅了されるのか～」	令和5年 10月24日(火) ～12月17日(日)
大野城心のふるさと館開館5周年記念企画展 「南の縄文文化～縄文人の心を探る～」	令和6年 1月20日(土) ～3月10日(日)

大野城心のふるさと館開館5周年記念特別展

白木原ベースサイドストーリー

～町のなかのアメリカ文化、そしてPOP吉村伝説の誕生～

会 期 令和5年4月25日(火)～6月18日(日) (48日間)

内 容 戦後、大野城市や春日市にまたがって設置されたアメリカ軍の板付基地春日原住宅地区(白木原ベース)、白木原ベース通り商店街の米軍ハウスなど、当時のアメリカ市民文化を復元し紹介するとともに、全国各地に残るアメリカ市民文化について紹介した。また二輪耐久レースで世界に名をはせたPOP吉村氏の技や彼が手がけた貴重な車両のほか、聞き取り調査から復元した工房も紹介した。

展 示 品 ボウリング道具、アルコール瓶、木製フォークとスプーン、ジャンパー、トロフィー「KTA ALL JAPAN DRAG RACE 1st PLACE」、トロフィー「KTA ROAD RACE 1st PLACE」、1983 YOSHIMURA MORIWAKI GSX1000 ほか

観 覧 料 一般 300円(ここふる友の会又は団体250円)、高校生以下無料

観 覧 者 数 7,619人(1日平均:158.7人)

(内訳) 無料観覧者数:1,614人

有料観覧者数:6,005人(有料観覧率 78.8%)

図 録 29.7cm×21cm / 本文51ページ:500円 / 編集・発行:大野城心のふるさと館



関連イベント

内覧会

日 時：令和5年4月24日（月） 14時～16時

会 場：セレモニー会場 大野城心のふるさと館1階 特設会場
特別展会場 大野城心のふるさと館1階 特設会場、2階 特設会場、3階 企画展示
室、ホワイエ

参加者数：75人

ポケットバイク撮影会

日 時：令和5年5月5日（祝・金）、令和5年6月10日（土）

各日 10時～12時、13時30分～15時30分

会 場：大野城心のふるさと館1階 ジョーホール

参加者数：107人

トークショー「POP 吉村伝説に迫る」

日 時：令和5年5月6日（土） 14時～15時30分

会 場：大野城心のふるさと館1階 ジョーホール、M2階 講座学習室

参加者数：403人

キッチンカー（白木原バーガー販売）

日 時：令和5年5月6日（土） 11時～17時

会 場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

参加者数：100人

ギャラリートーク

第1回

日 時：令和5年5月14日（日） 10時半～11時半

会 場：大野城心のふるさと館3階 企画展示室

第2回

日 時：令和5年5月21日（日） 10時半～11時半

会 場：大野城心のふるさと館2階 特設会場

参加者数：41人

バスツアー「マリリン・モンローに会えるツアーin西戸崎」

日 時：令和5年6月4日（日） 10時～17時

内 容：西戸崎に残る米軍ハウスや米軍基地があった頃の雁の巣をめぐるバスツアーを実施。

参加者数：20人

ペーパークラフト配布

会 期：令和5年4月25日（火）～6月18日（日）

内 容：来場者にペーパークラフト（3種から1種）をプレゼント。

参加者数：5,968人

大野城心のふるさと館開館5周年記念特別展

「MINIATURE LIFE展—田中達也 見立ての世界—」

会 期 令和5年7月22日（土）～9月3日（日）（38日間）

内 容 日用品とジオラマ用人形を組み合わせ、日常にある物を別の物に見立てたアート作品を創り出すミニチュア写真家・見立て作家田中達也さんの作品を展示した。

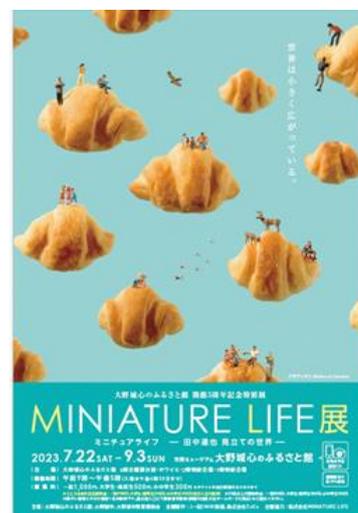
展 示 品 新パン線、カリフラワー森もり、甘島（あまとう）、問題の解き方は人それぞれ、屋台の出会い“いちご”一会（福岡限定作品）ほか

観 覧 料 一般 1,000円（ここふる友の会 800円、団体 700円）、
大学生・高校生 500円（ここふる友の会、団体 300円）、
小・中学生 300円（ここふる友の会、団体 100円）

観覧者数 20,781人（1日平均：546.9人）

（内訳）無料観覧者数：3,857人

有料観覧者数：16,924人（有料観覧率 81.4%）



関連イベント

内覧会

開 催 日：令和5年7月21日（金）

会 場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

参加者数：18人

田中達也サイン会

日 時：令和5年7月22日（土） 11時～12時

会 場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

内 容：書籍を含むグッズを物販会場で3,000円以上購入した方に整理券を配布し、先着順でサイン会を実施した。

参加者数：38人

田中達也トークショー

日 時：令和5年7月22日（土） 14時～15時半

会 場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

参加者数：134人

小さな My おうちバッグ工作

日 時：令和5年8月5日（土）、令和5年8月6日（日） 各日 10時～、14時～

会 場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

内 容：ハサミとノリだけで作ることのできる、組立て簡単なおうち型バックの中に、好きなお菓子を詰めて持ち帰った。

参加者数：123人

モルタルのおうちでミニチュアガーデン作り

日 時：令和5年8月12日（土） 10時～、14時～

講 師：坂元貴子氏（Blue gray garden 主催）

内 容：おうち型のモルタル造形と造花等を使って参加者オリジナルのミニチュアガーデンを製作した。

参加者数：36人

本物そっくり！食品サンプル作り

日 時：令和5年8月19日（土） 10時～、14時～

会 場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

参加者数：65人

「絵柄が浮かび上がる？重ね押しスタンプラリー」

会 期：令和5年7月22日（土）～9月3日（日）

内 容：来場記念として来場者にスタンプを順番に押ししていくと絵柄が浮かび上がってくるスタンプラリー台紙を配布し、プレゼントした。

参加者数：21,295人

大野城心のふるさと館開館5周年記念特別展

「国宝平原王墓出土大鏡の世界 ～なぜ人々は鏡に魅了されるのか～」

会 期 令和5年10月24日（土）～12月17日（日）（48日間）

9時～17時（入場は16時30分まで）

内 容 日本には弥生時代に中国大陸から朝鮮半島を経て鏡が伝わり、その後日本好みの鏡が国内で製作されるようになった。鏡は姿を映す実用の道具としてだけでなく、光り輝く神聖なものとみられ、呪術的性格や権力の証、当時の心性や思想を表現したものでもあった。本展では、福岡県糸島市平原遺跡1号墳から出土した国宝内行花文鏡を主軸に弥生時代から古代を中心として日本で出土した鏡を展示し、鏡の歴史や役割・意義、意匠について紹介した。



展示品 国宝 平原遺跡出土：内行花文鏡・方格規矩四神鏡・四螭鏡・ガラス連玉・ガラス勾玉メ
ノウ管玉
国重要文化財：吉武高木遺跡3号木棺墓出土細形銅劍・細形銅戈・銅鏡（多鈕細文鏡）・
勾玉・管玉
大野城市指定：三角縁神獸鏡 ほか

観覧料 一般 300円（ここふる友の会、団体250円）、高校生以下無料

観覧者数 期間合計 2,208人（1日平均：46人）
（内訳）無料観覧者数：1,049人
有料観覧者数：1,159人（有料観覧率 52.5%）

図録 29.7cm×21cm / 本文72ページ：900円 / 編集・発行：大野城心のふるさと館

関連イベント

内覧会

日時：令和5年10月23日（月） 15時～16時
会場：大野城心のふるさと館1階 ジョーホール、3階 企画展示室・ホワイエ
参加者数：87人（来賓・関係者：13人、ここふる友の会会員：69人、マスコミ関係者：4社、5人）

鏡磨きワークショップ

日時：令和5年11月11日（土） 10時～、13時～、15時～
会場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室
内容：「内行花文鏡」レプリカで鏡磨き体験を行った。
参加者数：24人

特別展関連講演会

日時：令和5年11月18日（土） 13時30分～
会場：大野城まどかぴあ1階 多目的ホール
内容：講演1「平原遺跡と鏡」 角浩行氏（伊都国歴史博物館）
講演2「古代国家の形成と鏡」 辻田淳一郎氏（九州大学）
参加者数：109人

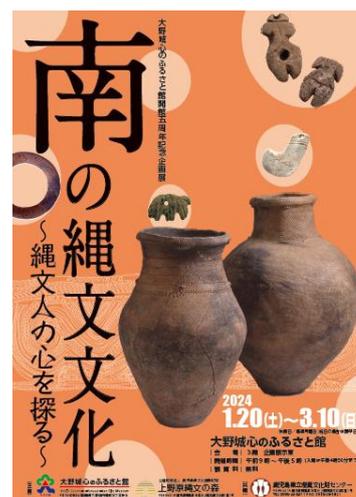
内行花文鏡チョコワークショップ

日時：令和5年11月19日（日） 10時～16時
会場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室
内容：「内行花文鏡」型でチョコレートを製作した。
参加者数：37人

大野城心のふるさと館開館5周年記念企画展

「南の縄文文化～縄文人の心を探る～」

会 期	令和6年1月20日（土）～3月10日（日）（51日間）
内 容	縄文時代最古級の定住集落や壺形土器などで著名な国史跡上野原遺跡をはじめ、南九州とそれに連なる南の島々で花開いた先進的な縄文文化について紹介した。
展 示 品	壺型土器、角筒土器、円筒土器、レモン型土器、土偶、耳飾り、勾玉、石鏃 ほか
観 覧 料	無料
観覧者数	5,667人（1日平均：111.1人）



関連イベント

開会式

日 時	令和6年1月19日（金） 15時～16時
内 容	来賓、関係者、報道各社向けの開会式。テープカットや会場見学を行った。
参加者数	34人（来賓・関係者：30人、報道各社関係者：3社 4人）

企画展関連クイズ

会 期	令和6年1月20日（土）～3月10日（日）
内 容	観覧者全員を対象に、実際の展示物を見ながら回答するクイズを実施した。挑戦者には上野原縄文の森オリジナルメモ帳をプレゼントした。
参加者数	740人

企画展講演会「南の縄文文化」

日 時	令和6年2月10日（土） 10時～11時30分
講 師	鹿児島県考古学会 会長 堂込秀人氏
参加者数	81人

企画展関連ワークショップ「夜光貝チャームをつくろう！」

日 時	令和6年2月10日（土） 13時30分～15時
参加者数	36人

ギャラリートーク

日 時	令和6年3月2日（土） 10時～10時30分、13時～13時30分
参加者数	19人

3 教育普及

3-1 学校連携事業

ふるさとの歴史をはじめとする地域資源、環境に興味・関心を深め、主体的な活動を促すという学習指導要領のねらいを踏まえ、総合学習や社会科を中心に、館の展示・収蔵品などの資源、体験型事業をいかした学習プランや学習教材を提供し、市内小・中学校の教育活動をサポートした。

令和5年度実績 市内小学校10校、市内中学校2校

※一部複数回実施の単元あり。

	学校名	単元	学年
1	大野小学校	私たちの大野城市【社会科】／昔の道具【社会科】	3
2		大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
3		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
4		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
5	大野北小学校	大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
6		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	5・6
7		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
8		昔の道具【社会科】	3
9	大野南小学校	私たちの大野城市【社会科】	3
10		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
11		昔の道具【社会科】	3
12	大野東小学校	山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
13		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
14		昔の道具【社会科】	3
15	大利小学校	山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
16		大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
17		昔の道具【社会科】	3
18	平野小学校	大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
19		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
20		昔の道具【社会科】	3
21	大城小学校	山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
22		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
23		昔の道具【社会科】	3
24	下大利小学校	大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
25		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
26		昔の道具【社会科】	3
27	御笠の森小学校	私たちの大野城市【社会科】	3
28		大野城市の発展につくした人【社会科】	4

	学校名	単元	学年
29	御笠の森小学校	昔の道具【社会科】	3
30	月の浦小学校	山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
31		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
32		昔の道具【社会科】	3
33	大野東中学校	地域の歴史を探る	2
34	御陵中学校	地域の歴史を探る	1

3-2 体験型事業

ここふるAR

館内でタブレット端末を貸し出し、AR システムを活用した解説の常時実施や館内周遊イベントなどに使用した。

※ タブレット端末の貸出は1回2時間以内

令和5年度貸出実績	のべ638台（使用人数：のべ1,342人） ※学校連携事業使用分（332台、使用人数332人）は外数
-----------	-------------------------------------------------------



《1階 大野城ダイナビジョン前》

百間石垣ウォール・クライミング

大野城跡の百間石垣の一部を壁面に再現し、約7メートルの石垣の高さを体感できるウォール・クライミングを設置している。土日・祝日には小学生以上を対象としたクライミング体験を実施した。

- ・令和5年度クライミング開催回数 145回
- ・参加者総数：3,306人
- ・令和5年度新規登録者数 674人

運用区分	開催回数	参加者数
通常運用	116回	3,045人
特別運用	4回	52人
大人限定運用	4回	5人
未就学児運用	12回	80人
春休みクライミング特別運用	1回	5人
夏休みクライミング特別運用	6回	107人
冬休みクライミング特別運用	1回	9人
未就学児特別運用	1回	3人
合計	145回	3,306人



※通常運用：小学生以上

大人限定運用：満16歳以上

未就学児運用：次年度小学校入学予定の未就学児

子ども考古学教室

夏休み期間中に、小学4年生～中学2年生を対象とした考古学や文化財への理解と関心を深めるための体験型学習「子ども考古学教室」を実施した。

開催日	内容	参加者数
令和5年 8月2日(水) 3日(木)	・考古学のお仕事 ①学習 ②分類・編年 ・考古学のお仕事体験 ①拓本 ②接合	14人(内訳:小学校4年生7人、小学校5年生5人、小学校6年生1人、中学校1年生1人)

ここふるワークショップ

未就学児から高齢者まで様々な年齢層が自由に参加して楽しめる参加費無料のワークショップを実施した。季節や行事など身近なものを題材として、折り紙など簡単な材料を使った工作を主に行った。

- ・日 時：毎月第1～3週の土日 10時～16時(受付は15時30分まで、材料がなくなり次第終了)
- ・対 象：どなたでも参加可能。小学3年生以下は保護者の同伴が必要。
- ・開催日総数：72日 ・参加者総数：4,128人 ・会場：こども体験ギャラリー

月	内容	参加者数	月	内容	参加者数
4月	こいのぼりを作ろう！	266人	10月	ハロウィンのお面を作ろう！	381人
5月	貨布しおりを作ろう！	261人	11月	どんぐりリースを作ろう！	144人
6月	七夕かざりを作ろう！	300人	11月	竹とんぼを作ろう！	203人
7月	びゅんびゅんごまを作ろう！	377人	12月	クリスマスカードを作ろう！	415人
8月	風鈴を作ろう！	391人	1月	お正月遊び体験！	114人
9月	ウサギののぼり人形を作ろう！	380人	1月	節分のかざりを作ろう！	224人
			2月	ひな人形を作ろう！	347人
			3月	お花のメッセージカードを作ろう！	325人

ここふる体験工房

地域の歴史や文化に親しみを持ち、展示から得られた理解をより身近に感じてもらうため、幼児から大人まで幅広い年齢を対象に、歴史や文化の要素を取り入れた有料の体験工房を実施した。

- ・開催日総数：22日 ・参加者総数：206人 ・日 時：毎月第4土日 13時～15時

月	内容	参加者数	月	内容	参加者数
4月	勾玉ネックレス作り	23人	10月	ハロウィンチョークアート作り	18人
5月	初夏の和菓子作り	22人	11月	押し花工作	16人
6月	折り染めうちわ作り	23人	12月	藍染め体験	19人
7月	開館5周年事業の為未開催	-	1月	昔のお金貨布作り	19人
8月	土器・はにわ作り	11人	2月	さげもん飾り・木目込みまり作り	19人
9月	和綴じメモ帳作り	18人	3月	古代マグネット作り	18人

3-3 団体利用

館内や学校、公民館等の館外で利用できる様々な講座や史跡案内を実施した。職員及びふるサポの会サポーターによる館内見学や歴史体験講座を館内で行うほか、歴史体験講座などの一部は、館内だけでなく学校の授業や公民館での講演会でも実施可能としている。

また、利用者が当館で得た知識と情報を基に歴史やまちの魅力を体験できるよう、館内の学びのほかに、実際の史跡散策など、当館と史跡、大野城トレイルとの連携を図るプログラムを展開した。

・利用団体総数：29 団体 ・参加者総数：1,071 人

館内学習・体験

講座名	内容	参加者数
心のふるさと館見学	各展示をガイド付きで見学。	5 団体（100 人）
むかしのくらし講座	館内の昭和のくらしコーナーをガイド付きで見学し、道具を体験。	1 団体（17 人）
古代マグネット作り	樹脂を用いて埴輪・勾玉などのマグネットを作る体験。	2 団体（26 人）

歴史体験講座

講座名	内容	参加者数
昔遊びをしよう	けん玉やめんこ、こまなどの昔遊び。	3 団体（49 人）

史跡散策

講座名	内容	参加者数
館外ガイド	水城跡・大野城跡や善一田古墳公園等、現地をガイド付きで見学。	16 団体（638 人）

出張講座

講座名	内容	参加者数
大野城市今昔物語	市内の歴史や発掘調査の成果についての講座。	2 団体（241 人）

3-4 まち歩き事業・文化財公開事業

遺跡などへの理解を深めるため、ガイド付きで実際に史跡めぐりを行うまち歩き事業や文化財の公開事業を実施した。

事業実施総数：13回 参加者総数：488人

タイトル	開催日時	内容	参加者数
日本遺産バス見学会	令和5年 5月13日(土) 14日(日) 12時30分～ 17時30分	市内に所在する日本遺産構成文化財（大野城跡、水城跡、梅頭窯跡、善一田古墳群、御笠の森）を見学、解説。心のふるさと館開館5周年記念事業・日本遺産関連事業の一環として実施。	29人
御笠の森と日田街道をたずねる	令和5年 5月20日(土) 10時～12時	御笠の森と日田街道に関係する周辺の文化財をめぐりながら解説。心のふるさと館開館5周年記念事業・日本遺産関連事業の一環として実施。	8人
大野城をあるく	令和5年 5月27日(土) 13時～17時	大野城市の市名の由来となっている大野城跡をめぐりながら解説。心のふるさと館開館5周年記念事業・日本遺産関連事業の一環として実施。	4人
小田浦窯跡発掘調査現地説明会	令和5年 7月29日(土) 10時～12時	牛頸須恵器窯跡の一角に位置する小田浦窯跡I地区で実施した発掘調査成果を公開、解説。	102人
梅頭窯跡公開事業	令和5年 10月7日(土) 10時～12時	牛頸須恵器窯跡の概要及び梅頭窯跡について解説。心のふるさと館開館5周年記念事業・日本遺産関連事業の一環として実施。	44人
日本遺産バス見学会 (神功皇后 伝承コース)	令和5年 10月14日(土) 12時～17時	日本遺産「西の都」のサブストーリーに基づき、裂田溝、宇美八幡宮、御笠の森を見学、解説。日本遺産関連事業の一環として実施。	20人
日本遺産バス見学会 (菅原道真コース)	令和5年 10月21日(土) 12時～ 17時30分	日本遺産「西の都」のサブストーリーに基づき、水城跡、大宰府政庁、観世音寺、太宰府天満宮、榎社を見学、解説。日本遺産関連事業の一環として実施。	20人
水城をあるく	令和5年 11月11日(土) 13時～17時	国指定特別史跡「水城跡」をぐるっとめぐりながら解説。心のふるさと館開館5周年記念事業・日本遺産関連事業の一環として実施。	12人
善一田古墳石室 公開事業	令和5年 11月23日 (祝・木) 10時～12時	善一田古墳群の概要の説明と18号墳石室内などの見学。来場者にはクイズラリー用紙を配布し、参加者に九州古墳カードを贈呈。心のふるさと館開館5周年記念事業・日本遺産関連事業の一環として実施。	59人

タイトル	開催日時	内容	参加者数
水城跡発掘調査 現地説明会	令和6年 3月10日(日) 10時～12時	水城跡木樋推定地で行われた発掘調査成果を公開、解説。水城 DAY の一環として実施。	100人
水城跡 KIKORI 体験会	令和6年 3月10日(日) 13時30分～ 15時30分	水城跡の植生について学びながら、小径木の伐採、丸太切り、まどか弓の体験会を実施。水城 DAY の一環として実施。	45人
日本遺産バスツアー (いにしへの要塞を 巡る)	令和6年 3月16日(土) 12時～17時	日本遺産「西の都」のサブストーリーに基づき、大野城跡、水城跡、基肄城跡をめぐるバスツアー。古代山城関連事業・日本遺産関連事業の一環として実施。	45人

3-5 講座・講演会

令和5年度に実施した講座・講演会は以下のとおり。

考古学講座

会場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室 参加者総数：261人

演題	講師	日時	参加者数
伊都国の鏡を掘る	伊都国歴史博物館主幹 平尾和久氏	令和5年 10月21日(土)	58人
伝御陵古墳出土三角縁神獣鏡をめぐる物語	大野城心のふるさと館 文化財担当課長 石木秀啓	令和5年 11月19日(日)	59人
古墳の鏡を掘る	大野城心のふるさと館 文化財担当 澤田康夫	令和5年 12月9日(土)	49人
科学的に鏡を探る	九州歴史資料館研究員 小林啓氏	令和6年 1月20日(土)	44人
奴国の鏡を掘る	春日市文化財課係長 井上義也氏	令和6年 2月18日(日)	51人

※開催時間は各日 14時～16時

古典文学講演会

会場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室 参加者総数：113人

演題	講師	日時	参加者数
古代文学に現われた「鏡」 —七夕の詩歌から「破鏡」を考える—	福岡女子大学名誉教授 月野文子氏	令和5年 6月25日(日) 14時～16時	31人
目加田誠博士の見た 「満州国」立博物館の古代鏡	九州大学人文科学研究院 専門研究員 稲森雅子氏	令和5年 7月17日(祝・月) 10時～12時	23人
白髪三千丈は何メートル？ —漢詩の読み方の基礎講座—	九州大学文学部教授 静永健氏	令和5年 9月18日(祝・月) 14時～16時	30人
平原古鏡と王績『古鏡記』	九州大学名誉教授 竹村則行氏	令和5年 10月31日(火) 14時～16時	29人

古文書入門講座

会場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

演題	講師	日時	参加者数
高原文書『御免用普請作法書』、(諸般書帳)、『諸通御定書』、『出勤役人賄代並郡家買上ケ諸品書上帳』、『長崎非常ニ付人馬出方心得方御達』、『御通書定書』(全18回)	長崎大学名誉教授 柴多一雄氏	令和5年 5月25日(木)～ 令和6年 2月8日(木) 各回18時～20時	17人

大野城心のふるさと館開館5周年記念シンポジウム

「水中遺跡で初めてわかる歴史の姿」

会場：まどかびあ1階 多目的ホール

演題	講師	日時	参加者数
これからの水中遺跡保護について	文化庁文化財第二課 文化財調査官 芝康次郎氏	令和5年 8月20日(日) 10時～17時	129人
日本史の見方が変わる水中遺跡	東京大学名誉教授 佐藤信氏		
ベトナムのモンゴル襲来： 河戦場、白藤江遺跡	東海大学准教授 木村淳氏		

演題	講師	開催日時	参加者数
鷹島海底遺跡で明らかになった 蒙古襲来の真実	國學院大學教授 池田榮史氏	令和5年 8月20(日) 10時～17時	129人
筑後川の堰遺産	浮羽まるごと博物館 協議会会長 佐藤好英氏		
御笠川の中水遺跡	大野城心のふるさと館 文化財担当課長 石木秀啓		

3-6 ふるさとラボ

大野城市在住だった目加田誠・さくを氏夫妻から寄贈された蔵書類、並びに市の文化財に関する図書等を利用者が自由に閲覧できる開架図書としている（貸出不可、複写可）。壁面には目加田誠・さくを氏夫妻とその著作物の紹介、大野城市にゆかりの深い人物4人（米の改良に取り組んだ末永仁氏、牛頸用水路に私財を投じた森山庄太氏、伊能忠敬氏（1812年に測量隊員が大野城市内を測量）、証券会社を設立して地元や市に多大な寄付を行った石井久氏）の解説パネルを設置している。



目加田さくを氏の解説パネルそばの展示ケースには、さくを氏が所蔵していた浮世絵の複製のうち、歌川広重の「東海道五十三次」を月に2回換えながら順次展示。また、目加田夫妻の業績をわかりやすく解説したパネルを2ヵ月に1回のペースで変更しながら掲示した。古典の日には『源氏物語絵巻』（複製）の展示を行った。

令和5年度入室者総数	21,745人
------------	---------

3-7 研修生等受入

学芸員課程博物館実習

学芸員課程を履修している学生を対象に、博物館の実習受入を行っている。令和5年度は座学、資料の取扱い実習、実習成果のほか、開館5周年記念シンポジウム関連展示「水の中からこんにちは！」の展示の補助を行った。

実施期間	学校名	参加者数
令和5年8月1日(火)～8月10日(木) ※8月6日(日)は休日	筑紫女学園大学	1人
	九州産業大学	1人
	福岡大学	2人

職場体験

市内中学校の生徒を対象に、ワークショップ準備、警備業務、総合受付業務、団体対応業務、ここふるショップ業務などの職場体験を行った。

令和5年度実施期間	学校名	参加者数
令和6年3月5日(火)	御陵中学校	4人

インターンシップ

令和5年度は、インターンシップ受入れ未実施。

4 催し・施設貸出など

4-1 にぎわいづくり事業

まちの宝である地域で活躍する人など、市の魅力発信とまちのにぎわい創出を目的に、市内の団体や民間事業者等、多様な主体と連携した当館主催のイベントを行った。

・令和5年度実施イベント総数 14 ・参加者総数：14,518名

ここふるハイハイレース

開催日：令和5年4月7日(金)・8日(土)、9月29日(金)・30日(土)、
12月22日(金)・23日(土)

内容：ハイハイできる未歩行の赤ちゃんとその保護者を対象としたレースを実施した。参加者には参加賞として景品をプレゼントした。

参加者数：246人

ここふるゴールデンウィーク2023「こどもの日クイズに挑戦！」

会期：令和5年4月29日(祝・土)～5月7日(日)

内容：館内各所に設置したクイズのパネルを探し、クイズを解く企画。7つのクイズを解き、全て正解した参加者には景品をプレゼントした。

参加者数：398名、SNSフォロー企画 64人

ここふるカタカタレース

開催日：令和5年6月29日(木)・30日(金)、11月24日(金)・11月25日(土)

内容：押し車を押して歩ける2歳0か月までのお子様とその保護者を対象としたレースを実施した。参加者には参加賞として景品をプレゼントした。

参加者数：133人

ここふる夏休み 2023 「小さなおうちを作ろう！」

開催日：令和5年7月15日（土）～9月3日（日）

内容：館内各所にジョークやまどかちゃん、家具等のパーツを設置し、参加者に館内を回っていただきながらパーツを集めてもらう企画。おうちの台紙を組立てて7つのパーツを貼り、おうちが完成した参加者には景品を渡し、前期（令和5年7月15日（土）～8月13日（日））、後期（令和5年8月15日（火）～9月3日（日））それぞれ完成させた方に景品をプレゼントした。

参加者数：4,186人、SNSフォロー企画 398人

開館5周年記念

「ワークショップ・ウィーク」

会期：令和5年7月23日（日）～7月30日（日）※7月24日（月）は除く

内容：約1週間にわたり他の博物館や九州大学がワークショップを開催した。薬研体験やスーパーボール作り、工作など幅広いコンテンツを実施した。

参加者数：1,115人

開催日	ワークショップ名	参画団体
令和5年 7月23日（日）	化学で遊ぼう！スーパーボール作り	九州大学
	International Cultural Game Festival	九州大学
令和5年 7月25日（火）	ボディージュエリー	CherryBlossom～桜～
	小さなカゴ作り	Shoka
令和5年 7月26日（水）	自分だけのミニロボくんを作ろう	アトリエ MISHMASH
	小さなカゴ作り	Shoka
令和5年 7月27日（木）	カラーサンドアート等	LAIME
	ドーナツ・マカロンのストラップを作ろう！	craft にじのたね
令和5年 7月28日（金）	自分だけのミニロボくんを作ろう	アトリエ MISHMASH
	薬研をつかってみよう！～薬草の香り袋を作ろう～	中富記念くすり博物館
令和5年 7月29日（土）	わくわく糸つむぎ	九州国立博物館
	薬研をつかってみよう！～薬草の香り袋を作ろう～	中富記念くすり博物館
令和5年 7月30日（日）	春日勾玉づくり	春日市奴国の丘歴史資料館
	VR体験	九州歴史資料館

おおの山城大文字まつりコラボイベント「縁日屋台」

開催日：令和5年9月23日（祝・土）・24日（日）

内容：参加券1枚で、わなげ・射的・スマートボールのいずれかに1回挑戦できる縁日イベントを実施。参加券入手方法は以下のとおり。

- ① 期間中、館内に設置されたスタンプを全て押した用紙を総合案内に提出。
- ② ここふる友の会会員カードを1階総合案内に提示。
- ③ 心のふるさと館のアカウントフォロー画面を1階総合案内に提示。
- ④ 1階ここふるショップで、会計500円ごとの利用。

注) ①～③は1人につき1日1枚のみの配布。

参加者数：3,818人（射的：1,165人、スマートボール：742人、わなげ：1,911人）

ここふるハロウィン2023「お菓子の数はいくつかな？」

会期：令和5年10月21日（土）～10月31日（火）

内容：参加者に、館内7か所に設置したパネルを探して貸出タブレットをかざしてもらい、浮き出てきたイラストの中のお菓子の数をかぞえ、解答用紙に記入してもらおう企画。正解者には景品をプレゼントした。

参加者数：703人、SNSフォロー企画154人

大野城ウィンターイルミネーション2023

会期：令和5年11月18日（土）～12月25日（月）

内容：大野城まどかぴあ南側広場でのイルミネーション点灯を中心とした、当館と公益財団法人大野城まどかぴあ、大野城市社会福祉協議会との連携イベント。点灯式を実施し、同時開催のキーワードラリーでは、ここふるショップにキーワードを設置した。期間中は、ここふるショップ内をクリスマス一色にした。

韓国古代音楽ミュージアムコンサート～日本の古代音楽を通じた日韓古代音楽の復元～

開催日：令和5年12月9日（土）

内容：韓国古代音楽の作曲家（キム・デソン氏）と韓国伝統楽器のプロ演奏者3名を招き、韓国伝統楽器（コムンゴ、テグム、チャング）による古代音楽の演奏を実施した。

参加者数：83人

ここふるメリクリ2023「サンタさんを探そう！」

会期：令和5年12月16日（土）～12月24日（日）

内容：館内に隠れた足長サンタの人形の数当て企画を実施。正解者には景品をプレゼントした。

参加者数：591人、SNSフォロー企画120人

クリスマスミニコンサート

開催日：令和5年12月22日（金）

内容：大野城市にぎわいづくり協議会主催のON0J0 Christmas Market 内の企画であるクリスマスミニコンサートを心のふるさと館と共働して開催した。

VR・アーケードゲームであそぼう！

開催日：令和5年12月23日（土）～令和6年1月7日（日）

内容：参加券で水城跡VRやレトロアーケードゲームを体験できる企画を実施。参加券入手方法は以下のとおり。

- ① ここふる友の会会員カード
- ② 大野城心のふるさと館SNSアカウント（※）のフォロー画面
- ③ ここふるラジオ体操カード
- ④ イベント参加証（上記を持たない中学生以下の児童のみ対象）

参加者数：1,712人

ここふるあけおめ2024「みんなの今年の運勢は！？」

会期：令和6年1月5日（金）～1月14日（日）

内容：1階フロア4か所に設置したパネルを探してもらい、貸出しタブレットをかざして浮き出てきたイラストのおみくじの結果を解答用紙に記入してもらおう。また、3階のふるさとラボでおみくじを引く企画。参加者には景品をプレゼントした。

参加者数：363人、SNSフォロー企画126人

ここふるバレンタインデー・ホワイトデー2024「かわいい袋にデコレーション！」

開催日：令和6年2月3日（土）～2月14日（水）、3月2日（土）～3月14日（木）

内容：館内各所にあるハート等のデコレーション用パーツを集め、台紙を組立てて袋を作り、完成させる企画を実施。デコレーションした袋を完成させた方には景品をプレゼントした。

参加者数：1,170人、SNSフォロー企画190人

4-2 つながる事業

当館のキーワードである「歴史」「こども」「にぎわい」を基に、世代を超えた交流の展開のため、多様な主体の参画による運営を目的とした、つながる事業を実施している。一定の要件を満たした個人や団体等から非営利を目的とした公益性の高い事業を募り、市と共働で事業を行うことで、新たなまちのにぎわいや人の交流の創出を図っている。

・令和5年度実施イベント総数 17 ※（◎）は昨年度から引き続き実施したものの。

染めを楽しむ (◎) ※令和5年度の事業として実施

会 期：令和5年3月28日(火)～4月9日(日)

内 容：自然がもつ美の素晴らしさを伝えるため、古来からの染色である藍染や草木染の作品を展示した。同時に、藍染と草木染のワークショップを実施した。



MONO Lab. (モノラボ) パネル展 「0→1へ」

会 期：令和5年4月25日(火)～4月30日(日)

内 容：「ものづくり」を柱としたコミュニティ形成や「連携」「交流」「創出」を目標としたまちづくりを行う「おおのじょう MONO 創り Lab.」の活動をパネルで紹介した。



ハワイアンキルト展

会 期：令和5年6月20日(火)～6月25日(日)

内 容：ハワイアンキルトの作品展示とハワイアン柄のミニがま口ポーチを作るワークショップを行った。また、フラダンスショーを開催した。



チョークアート×デジタルアート展

会 期：令和5年7月6日(木)～7月9日(日)

内 容：表現の違いを楽しめるチョークアートとデジタルアートを展示した。また、チョークアートやデジタルアートを実際に体験できるワークショップを実施した。



水城跡のあかり展 (◎)

会 期：令和5年7月11日(火)～7月16日(日)

内 容：子どもたちが、まちの宝である水城跡を守り伝えていくことを願って紙灯明を設置する「水城跡のあかり」を紹介する「水城跡のあかり展」を開催した。また、実際に紙灯明に絵を描くワークショップを実施した。



絵てがみ展 ～かくクスリ、見るクスリ、聞くクスリ～

会 期：令和5年9月20日(水)～10月1日(日)

内 容：見ていて元気になる絵てがみを展示した。うちわに好きな文字や絵を描くワークショップと筑前琵琶コンサート、ヘルマンハーブコンサートも実施した。



カリグラフィー作品展

会 期：令和5年10月3日（火）～10月29日（日）

内 容：西洋の書道といわれるカリグラフィーの作品を展示した。また、カリグラフィーで使われるアルファベットの美しい書体を使ってカードをデザインするワークショップを行った。



まちかど美術館（◎）

会 期：令和5年11月3日（祝・金）～11月12日（日）

内 容：「わたしのゆめ」（なりたいお仕事）という題材で、市内小学校の2年生を対象に絵画を集め、展示を行った。



宇宙の学校®（◎）

開 催 日：全3回〔令和5年11月12日（日）、12月24日（日）、令和6年2月4日（日）〕

内 容：JAXA 宇宙教育センターと KU-MA が連携し、各地域の主催者と協力しながら行っている社会教育支援プログラム。市内のボランティア団体「スペースドリーム大野城」と共働で、宇宙教育を通じて子どもたちに夢をもってもらうことを目的とした科学の学校〔親子で取り組むスクーリング（工作と実験）〕を開催した。



MOA 美術館福岡児童作品展大野城地域展（◎）

会 期：令和5年11月21日（火）～12月3日（日）

内 容：作品発表の場を提供し、子どもたちの創作意欲を高め、地域の芸術振興に努めるとともに、絵をきっかけにしたコミュニケーションを創出するために企画した。市内の小学生を対象に絵画を募集し、審査員により入賞作品を決定し展示と表彰式を行った。



大野城市商工会青年部・女性部合同餅つき大会

会 期：令和5年12月3日（日）

内 容：体験する機会が減っている餅つきを楽しんでもらい、市民との交流を生み出すため、商工会による餅つき大会を行った。杵と臼で餅をつく工程を体験してもらい、参加者に餅をふるまった。



大野城の宝フォトコンテスト 2023 入賞作品展示（◎）

会 期：令和5年12月12日（火）～12月24日（日）

内 容：大野城の宝フォトコンテスト 2023 で応募された総数 263 点の中から一般投票で入選した、大野城市撮影された計 10 点の写真を展示した。



グラスアート展

会 期：令和6年1月16日（火）～1月21日（日）

内 容：カラーフィルムやリード線を貼って作るグラスアートの作品を展示した。また、大人向けのグラスアートランプ作りと、こども向けのグラスアートキーホルダー作りのワークショップを実施した。



Hawaii in ONOJO いつでも ALOHA

会 期：令和6年1月23日（火）～2月3日（土）

内 容：ハワイアンリボンレイやハワイアンファブリックステンシル、ハワイアンキルトの作品を展示した。また、これらの手芸を実際に体験できるワークショップと、フラダンスショーを実施した。



ほっこり写真展（◎）

会 期：令和6年2月27日（火）～3月3日（日）

内 容：半年間にわたって撮影した大野城心のふるさと館でのほっこりする写真を展示する企画を実施した。展示の協力者には、現像した写真を無償提供した。



大野城で和太鼓をしようプロジェクト

会 期：令和6年3月5日（火）～3月17日（日）

内 容：大野城市で長く活動している和太鼓団体である「おおの大文字太鼓」「南ん子太鼓」による和太鼓の展示と動画による演奏の様子の紹介を行った。また、和太鼓を実際に叩くワークショップを実施した。



コワーキング・リフレッシュスペース「ままいる一む」（◎）

開 催 日：全9回〔令和5年4月15日（土）、5月21日（日）、6月25日（日）、7月7日（金）、8月11日（祝・金）、9月10日（日）、10月17日（火）、12月2日（土）、令和6年3月29日（金）〕

内 容：子育て支援団体「ままいる」による、家庭などで保育をする人達のための育児と仕事の両立支援等を目的としたコワーキングスペースの提供。保育をする人の居場所作りとして定期的に開催しており、ワークショップや講座も実施した。



4-3 活用事業

大野城市役所の各部署によるイベントや展示等を当館と共働で行う活用事業を実施。

令和5年度に活用事業として当館で実施した展示、イベントは、以下のとおり。活用事業による講座学習室の利用については、4-4 施設貸出にて後述する。

大野ジョーくんとあそぼ

開催日：全11回〔令和5年4月15日（土）、6月17日（土）、7月1日（土）、7月15日（土）、
8月19日（土）、10月28日（土）、11月18日（土）、12月16日（土）、
令和6年1月20日（土）、2月3日（土）、3月16日（土）〕

内容：市のPRキャラクターである大野ジョーやまどかちゃんとのダンスや記念撮影などのイベントを原則毎月第3土曜日に開催。また、2月のみ節分に合わせて実施。7月15日、8月19日は夏季特別展開催中により、ジョーホールの使用ができなかったため、グリーティングのみ実施。

担当課：プロモーション推進課

ここふるオレンジカフェ

開催日：全12回〔令和5年4月10日（月）、5月8日（月）、6月12日（月）、7月18日（火）、
8月7日（月）、9月19日（火）、10月10日（火）、11月13日（月）、
12月11日（月）、令和6年1月9日（火）、2月13日（火）、3月11日（月）〕

内容：認知症の人やその家族が気軽に通える場として、認知症カフェを開催。認知症や介護に関する相談窓口や回想法を利用したDVDの放映、リズム体操、歌等を実施。

担当課：すこやか長寿課

大野城市シニア大学「山城塾」

開催回数：全84回（21講座）

内容：高齢者に対して学習機会の提供、研究活動の支援を行うことにより、「高齢者の生きがいくくり」及び「生涯学習の促進」を図ることを目的に開催。

担当課：すこやか長寿課

小学生読書リーダー交流会&発表会

会期：【展示の部】令和6年2月6日（火）～2月18日（日）

大野城心のふるさと館1階 ジョーホール

【発表の部】令和6年2月17日（土） 大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

内容：小学生読書リーダー養成講座を夏休みに受講した児童たちの学校での活動で制作したPOPなどの作品及び掲示物等を展示の部として実施。発表の部では、2学期から学校での活動状況を各学校別に発表を行った。

担当課：教育振興課

大野城市立中学校の新制服候補サンプル展示会

会 期：令和6年3月4日（月）～3月5日（火）、3月11日（月）～3月19日（火）

内 容：市内中学校の制服リニューアルに伴い行われた、新制服のデザインコンペの展示会会場の1つとして、新制服候補のサンプル展示を実施。

担 当 課：教育支援課

4-4 施設貸出

一般利用者向けに講座学習室及び大野城コレクションの有料貸出を行った。また、館の活用促進のため、大野城市の各部署や市立小・中学校の事業を館内で実施する活用事業や様々な団体との共働事業であるつながる事業による利用も行った。

令和5年度 年間実績	講座学習室			大野城コレクション
	一般貸出	活用事業	つながる事業	一般貸出
申込件数	21件	111件	23件	1件
使用料収入	66,660円	—	—	5,880円

4-5 ここふるショップ

館オリジナルグッズや大野城市特産品・推奨品、市のキャラクターグッズ、被災地（東北地方、熊本県）特産品・名産品、市内福祉団体商品などを販売するミュージアムショップと、軽食や市内の参画団体によるランチを提供するカフェ、ハンドメイド商品の委託販売ができるチャレンジスペースブースを併設している。また、店内にて販売している被災地特産品・名産品の収益を各被災地に寄付金として送付する被災地支援事業を実施している。

日 時：心のふるさと館開館日の10時～18時（オーダーストップ 17時30分）

カフェ ランチタイム：11時30分～14時30分

令和5年度は以下4つの参画団体が日替わりランチメニューを提供。

カフェヒュッテ、SBY スイミング、マルイチ、株式会社オフィス Rei※（順不同）

※株式会社オフィス Rei は、令和5年5月～出店。

限定メニュー

企画展・特別展やイベントと連携した限定メニューを提供している。令和5年度提供の限定メニューは以下のとおり。

イベント	メニュー	金額
特別展 白木原ベースサイドストーリー	メロンクリームソーダ	300円
特別展 MINIATURE LIFE 展	クロワッサンサンド	430円 (DS550円)
特別展 国宝 平原王墓出土大鏡の世界	鏡ドーナツセット	350円

イベント	メニュー	金額
まどかフェスティバル	アフォガート風サンデー	350 円
クリスマスフェア	パティシエのりんごスティック (クリスマス ver)	400 円 (DS520 円)
	マシュマロココア	170 円
	ドライフルーツティー	250 円
ここふるあけおめ 2024 おせちの中身はな〜んだ?	白玉ぜんざい (ほうじ茶付き)	350 円
バレンタインデー	パティシエのりんごスティック 〜バレンタイン ver.〜	380 円 (DS500 円)
	バレンタインショコララテ	170 円
ホワイトデー	パティシエのりんごスティック 〜ホワイトデー ver.〜	380 円 (DS500 円)
	ストロベリーホワイトショコララテ	170 円

※DS・・・ドリンクセット

チャレンジスペースブース

ショップ内に設置しているアクリルボックスに手作り商品や作品を自由にレイアウトして展示・販売活動ができる。手数料として、A規格は売上金の 20%、B 規格は売上金の 25%を設定している。

令和 5 年度貸出実績	利用人数	出店期間 (全 4 期)
A (縦 34.4cm×横 29.4cm×奥行 27cm)	48 名	令和 5 年 4 月 1 日 (土)～6 月 30 日 (金) 令和 5 年 7 月 1 日 (土)～9 月 30 日 (土)
B (縦 34.4cm×横 59.4cm×奥行 27cm)	48 名	令和 5 年 10 月 1 日 (日)～12 月 27 日 (水) 令和 6 年 1 月 5 日 (金)～3 月 31 日 (日)

被災地支援事業

被災地からの特産品・名産品の仕入により、被災地の事業者を応援するとともに、被災地支援商品の販売収益を寄付金として東日本大震災等の被災地へ寄付する二重の支援活動を行っている。

事業名	説明	期間
被災地応援フェア	被災地応援商品を 1,000 円 (税込) 以上購入ごとに東北地方・熊本県のお菓子が当たる抽選会 (くじ引き) を実施。	令和 5 年 4 月 4 日 (火) ～ 16 日 (日)
	被災地応援商品を 1,000 円 (税込) 以上購入ごとに岩手県産米をプレゼント。	令和 6 年 3 月 9 日 (土) ～ 4 月 14 日 (日)

令和5年度寄付金

送金額	内訳		使途
480,261円 (振込手数料 除く。)	東北地方	396,921円	NPO法人Plus One Happiness 136,796円 NPO法人ワーカーズコープ大槌事業所 113,550円 NPO法人輝きの和 146,575円
	熊本県	52,511円	熊本城災害復旧支援金
	能登半島	30,829円※	令和6年能登半島地震災害義援金

※店内募金のみ。

4-6 オリジナルグッズ

館オリジナルのミュージアムグッズを制作し、ここふるショップで販売している。

令和5年度に制作したグッズは以下のとおり。

カプセルトイ (市指定文化財)		開館5周年記念 貨布キーホルダー	
三累環頭大刀 柄頭メモスタンド		トートバッグ	
ポストカード		ステンレスボトル	
ショルダー ボトルホルダー		エコバッグ	
モバイルスタンド (ラウンド型)		エプロン	
モバイルスタンド (スピーカー型)			

5 他機関との連携・交流

5-1 大韓民国国立公州大学校歴史博物館学術文化交流協定

平成30年度に開催した第2回特別展「再々発見！古代山城と水城・大野城」での国立公州大学校歴史博物館所有の文化財借用を契機として、両館の学術文化交流の推進を目的とした協定（平成30年10月10日から5年間）を締結。協定書の有効期限が令和5年10月10日になっていることに伴い、協定書の再締結のための調印式を実施。本協定に基づいて、調査研究、収集、保存、展示、活用等に関して、両館の研究者や職員等の交流、情報交換を目的とした「公州大学校歴史博物館連携事業」を継続して実施している。

市民サポーター交流事業

会 期：令和5年10月4日（水）～10月8日（日）

対 象 者：大野城心のふるさと館・大韓民国国立公州大学校歴史博物館

市民サポーター交流事業実行委員会 委員8名、心のふるさと館職員（引率）4名

会 場：大韓民国 忠清南道 公州市（公州大学校歴史博物館ほか）・扶余郡（扶蘇山城ほか）・ソウル特別市（国立中央博物館）

行 程：令和5年10月4日（水） 百済文化祭会場視察

令和5年10月5日（木） 市民サポーター交流（活動報告、体験交流）

令和5年10月6日（金） 公州市内史跡等視察（国立公州博物館、公山城ほか）

令和5年10月7日（土） 扶余郡内史跡等視察（扶蘇山城、国立扶余博物館ほか）

令和5年10月8日（日） 国立中央博物館視察

文化財の調査研究

会 期：令和5年11月6日（月）～11月10日（金）

内 容：①公山城発掘調査現場及び艇止山遺跡・宋山里古墳群の視察

②公山城及び周辺遺跡出土遺物の調査

③大野城市内遺跡出土の朝鮮半島系資料の比較・検討

目 的：公山城の立地・構造・築城技術など、水城跡・大野城跡との共通点・相違点について研究するため。また、大野城市内出土の朝鮮半島系資料の系譜・年代や類例について調査を行い、朝鮮半島出土資料との比較・検討を行った。

関連イベント

市民報告会

日 時：令和6年2月23日（祝・金） 14時～15時45分

会 場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

参加者数：44人

「大野城心のふるさと館紀要」への寄稿

対 象：大野城心のふるさと館紀要第3号

内 容：「大韓民国国立公州大学校歴史博物館との市民サポーター交流事業」

発 行 日：令和6年3月7日

ふるサポの会意見交換会

日 時：令和6年3月12日（火） 16時～17時30分

会 場：大野城心のふるさと館M2階 講座学習室

参加者数：ふるサポの会会員（ここふるサポーター）14人

5-2 視察等受入

令和5年度に受入れた視察は5件。詳細は以下のとおり。

視察日	受入団体	人数
5月30日（火）	沖縄県議会	13人
8月1日（火）	茨城県土浦市議会	9人
8月22日（火）	京都府議会	11人
10月13日（金）	三重県鈴鹿市議会	3人
11月14日（火）	沖縄県南城市教育委員会	10人

5-3 九州大学連携協力推進事業

平成31年3月に締結した「国立大学九州大学と大野城市との連携協力に関する協定書」に基づき、共働事業の実施やオープンキャンパスへの参加などを行った。

ワークショップ

① 化学で遊ぼう！スーパーボール作り

② International Cultural Game Festival（留学生交流）

日 時：令和5年7月23日（日） 10時～12時、13時～16時

内 容：開館5周年記念「ワークショップ・ウィーク」の一環として実施。

参加者数：427人（①312人、②115人）

ここふるサイエンスカフェ

令和3年度から筑紫地区地域連携推進チームとの共働により、九州大学から講師を迎え、科学の面白さ、奥深さ、生活との結びつきについて、誰でも楽しく気軽に学べる講座を実施している。令和5年度は4回実施した。

Vol.6 プラズマって何？えっ、人類を救うかもしれないの！

日 時：令和5年6月23日（金） 19時～20時30分

講 師：九州大学応用力学研究所 教授 花田和明氏

遠隔実験担当：九州大学応用力学研究所 助教 恩地拓己氏

参加者数：47人

Vol.7 健康快適で省エネ・脱炭素な暮らしを考える

日 時：令和5年8月25日（金） 19時～20時30分
講 師：九州大学総合理工学研究院 教授 萩島理氏
参加者数：24人

Vol.8 金属学イストワール

日 時：令和5年12月15日（金） 19時～20時30分
講 師：九州大学総合理工学研究院 准教授 光原昌寿氏
参加者数：23人

Vol.9 科学の目で見えた海洋プラスチックごみ問題

日 時：令和6年3月8日（金） 19時～20時30分
講 師：九州大学応用力学研究所 教授 磯辺篤彦氏
参加者数：23人

6 市民・地域との連携

6-1 ふるサポの会

当館は市民をはじめとした多様な主体が参画する運営を基本としているため、その一環として、16歳以上の市民等によるボランティア（サポーター）制度「ふるサポの会」を導入しており、サポーターが展示解説やワークショップ・各種事業運営・ここふるショップの運営支援を行っている。サポーター活動を行う上で必要な入門研修や特別展・館外ガイドなどに特化したスキルアップ研修を定期的を実施するほか、サポーターがそれぞれ有する様々な知識・経験をいかした活躍の場を広げるための環境整備を進めている。

会員数（令和6年3月31日現在）	サポーターのべ活動回数（年間）
94人	1,350回

サポーター研修			
No.	研修内容	実施回数	参加者数
1	入門研修	2回	5人
2	スキルアップ研修（特別展「白木原ベースサイドストーリー」）	2回	38人
3	スキルアップ研修（特別展「国宝 平原王墓出土大鏡の世界」）	2回	40人
4	スキルアップ研修（企画展「南の縄文文化」）	2回	34人

6-2 ここふる友の会

来館の促進を目的に、心のふるさと館に関する情報提供などを行うここふる友の会を発足している。

会員数：2,648人（令和6年3月31日時点）うち、令和5年度新規有料入会者数 689人

入会費：200円（年会費なし、有効期限なし）

特典	<ul style="list-style-type: none"> ・会員カードの交付（利用や活動に応じてスタンプを貯め、スタンプ数に応じてここふるショップのドリンク割引券やオリジナルグッズと交換できる） ・イベント等の事業情報のメール配信 ・特別展内覧会の案内 ・特別展観覧のここふる友の会会員料金適用 ・ここふるショップにて1,000円以上の購入で50円引きチケットの交付
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ここふる友の会会員カード（表）

（裏）



6-3 山城楽講

市の史跡案内ボランティアを養成し、イベント等で史跡案内を実施した。これまでの研修修了者は定例会を通じて、定期的に情報共有、自己研鑽に努めている。令和5年5月からは7期生の養成研修を開始し、令和6年3月15日（金）に4名が研修を修了した。

登録者数：32人（令和6年3月31日時点）

活動イベント	実施日	内容	活動人数
心のふるさと館開館5周年記念 日本遺産バス見学会	令和5年 5月13日(土) 14日(日)	善一田古墳公園、大野城跡、大宰府政庁、水城跡、梅頭窯跡を巡りながら解説。	4人
大野城をあるく	令和5年 5月27日(土)	尾花礎石群、太宰府口城文、増長天礎石群・鏡池、水城口城文、けいさしの井戸、広目天礎石群、「大文字」点灯場所、毘沙門堂、八ツ波礎石群を歩きながら解説。	3人
第41回おおの山城大文字まつり	令和5年 9月24日(日)	第41回「おおの山城大文字まつり」で古代山城関連事業推進協議会と山城楽講でパレードの後、ステージでPR。	16人
梅頭窯跡公開	令和5年 10月7日(土)	牛頸須恵器窯跡群のひとつ・梅頭窯跡を公開。	2人
水城をあるく	令和5年 11月11日(土)	水城ゆめ広場から東門跡まで見どころをめぐりながら解説。	3人
善一田古墳群の石室公開	令和5年 11月23日 (祝・木)	善一田古墳公園の石室公開と解説。	3人

活動イベント	実施日	内容	活動人数
定例会	年間 10 回	山城楽講生による自主運営、活動内容協議及び自主研究発表、座学による研修等	231 人
現地研修会	令和 5 年 11 月 29 日 (水)	見学とガイドボランティア団体と意見交換等	21 人
7 期生研修	令和 5 年 5 月 19 日 (金)	開講式と講話「大野城跡を知ろう」	11 人
	令和 5 年 6 月 16 日 (金)	大野城跡での実地研修 (増長天礎石群、鏡池、太宰府口城門、尾花礎石群)	9 人
	令和 5 年 7 月 28 日 (金)	講話「善一田古墳群の概要」	10 人
	令和 5 年 8 月 18 日 (金)	講話「水城跡について」	9 人
	令和 5 年 9 月 15 日 (金)	水城跡での実地研修と訓練 (ゆめ広場、推定望楼跡、土塁取付部、西門跡、木樋跡)	7 人
	令和 5 年 10 月 20 日 (金)		7 人
	令和 5 年 11 月 17 日 (金)	小水城跡での実地研修 (大土居小水城跡、天神山小水城跡、上大利小水城跡)	7 人
	令和 5 年 12 月 15 日 (金)	水城東門跡での実地研修 ※大宰府史跡解説員ガイドボランティアに解説依頼。	6 人
	令和 6 年 1 月 26 日 (金)	大野城跡での実地訓練 (増長天礎石群、鏡池、太宰府口城門、尾花礎石群)	6 人
	令和 6 年 2 月 16 日 (金)	善一田古墳公園での実地研修	13 人
	令和 6 年 3 月 15 日 (金)	修了式、認定書授与式	11 人
日本遺産バスツアー 「いにしへの要塞」を巡る	令和 6 年 3 月 16 日 (土)	大野城跡、基肄城跡、水城跡の日本遺産をめぐるツアーで解説。	2 人

6-4 史跡環境整備サポーター事業

安全安心かつ快適な史跡環境を目指すとともに、史跡に愛着を持ってもらうため、平成 28 年度から住民参加型の史跡管理事業を行っている。対象地は、水城跡、牛頸須恵器窯跡とし、大野城市緑化推進協議会の協力を得ながら、年間を通して定期的に小径木や竹の伐採、下草刈りを実施した。

対象史跡	実施日	活動人数	対象史跡	実施日	活動人数
牛頸須恵器窯跡	令和 5 年 4 月 22 日(土)	14 人	水城跡	令和 5 年 5 月 23 日(火)	14 人
	令和 5 年 5 月 11 日(木)	9 人		令和 5 年 6 月 27 日(火)	10 人
	令和 5 年 10 月 12 日(木)	8 人		令和 5 年 9 月 26 日(火)	13 人
	令和 5 年 11 月 9 日(木)	14 人		令和 5 年 10 月 24 日(火)	13 人
	令和 5 年 12 月 14 日(木)	14 人		令和 5 年 11 月 28 日(火)	17 人
	令和 6 年 1 月 11 日(木)	13 人		令和 5 年 12 月 26 日(火)	14 人
	令和 6 年 2 月 8 日(木)	13 人		令和 6 年 1 月 23 日(火)	12 人
	令和 6 年 3 月 14 日(木)	15 人		令和 6 年 2 月 27 日(火)	14 人
全 8 回 総活動人数 100 人			全 8 回 総活動人数 107 人		

※牛頸須恵器窯跡の 6 月・9 月、水城跡の 4 月・3 月は悪天候のため中止。

7 情報発信・広報

7-1 情報発信・広報ツールの活用

公式ウェブサイト

URL <https://www.onojo-occm.jp/>

SNS

フォロワー数 (令和 6 年 3 月 31 日時点)	LINE	Instagram	X (旧 Twitter)	Facebook
	1,465	1,723	1,188	627

7-2 発行物

機関紙「ここふるニュース」

年間4回発行。市広報紙に折り込み、配布を行った。

発行日	版	主な内容	発行部数	広報折込部数
7月1日	vol.16	特別展「MINIATURE LIFE 展 —田中達也 見立ての世界—」	50,000部	46,900部
10月1日	vol.17	特別展「国宝 平原王墓出土大鏡の世界 ～なぜ人々は鏡に魅了されるのか～」	50,000部	47,000部
1月1日	vol.18	企画展「南の縄文文化 ～縄文人の心を探る～」	50,000部	47,000部
3月15日	vol.19	企画展「九大1万年史 —発掘された九州大学筑紫キャンパス内の遺跡—」	50,000部	47,000部

おうちミュージアム

新型コロナウイルスの影響で休館になっても「学校がはじまるまでのあいだ、おうちでミュージアムをたのしもう」という趣旨で北海道博物館がはじめた「おうちミュージアム」に当館も賛同。おうちでも「学べる」「遊べる」コンテンツを公式ウェブサイトで提供。(総コンテンツ数18件)

令和5年度提供は以下のとおり。

コンテンツ	内容
ここふるぬりえにチャレンジ!	季節のぬりえや大野城市PRキャラクター大野ジョーのぬりえ等を提供。

ここふる学校

当館のスタッフがそれぞれの知識・経験をいかして様々な授業を公式ウェブサイト上で発信している。令和5年度の公開は以下のとおり。

媒体	内容
テキスト	郷土の誇る偉人～目加田 誠氏・目加田 さくを氏～ 第14回 目加田 誠先生と中国文学4-『聊齋志異』4- 第15回 目加田 誠先生と中国文学5-『聊齋志異』5-

大野城市の文化財

発行日	題名	発行部数
令和6年 3月31日	『御笠の森と日田街道をたずねる』 大野城市の文化財第54集	2,000部

8 資料収集・調査・貸出

8-1 資料の収集

令和5年度の寄贈資料は1件。詳細は以下のとおり。

資料名	内容	点数	寄贈者
百人一首屏風	寄贈者が作成したもので、百人一首屏風はカルタの形で貼り交ぜられている。『源氏物語』は古典文学大系などを底本に全て筆で書写されたもの。	1 双	個人
『源氏物語』		31 冊	

8-2 資料の調査

令和5年度の資料調査の受入れは10件。詳細は以下のとおり。

受入日	対象資料	依頼者
令和5年 5月22日(月)	石坂窯跡群 C-1 号窯跡・小田浦窯跡群 40- I 号窯・小田浦遺跡群 80 地点・日ノ浦遺跡群・梅頭遺跡群 1 次 1 号窯跡出土須恵器	1 人
令和5年 6月8日(木)	小田浦窯跡群・梅頭遺跡群出土須恵器	1 人
令和5年 8月16日(水)	仲島本間尺遺跡・御陵前ノ椽遺跡出土弥生土器	1 人
令和5年 8月30日(水)	牛頸須恵器窯跡出土ヘラ書き須恵器	2 人
令和5年 10月12日(木)	善一田遺跡 4 次調査出土馬具	1 人
令和5年 11月17日(金)	野添遺跡出土陶棺	2 人
令和5年 11月24日(金) 29日(水) 30日(木)	野添窯跡・月ノ浦窯跡・小田浦窯跡・乙金窯跡・東浦窯跡群・大谷窯跡群出土瓦	1 人
令和5年 12月21日(木) 22日(金)	石坂窯跡群 C 地点・E 地点出土須恵器	1 人
令和5年 12月25日(月) ~27日(水)	善一田遺跡・王城山古墳・古野遺跡・原口遺跡・仲島遺跡・胴ノ元古墳出土馬具	1 人
令和6年 1月16日(火)	牛頸須恵器窯跡群出土須恵器・瓦、乙金地区遺跡群出土須恵器	1 人

令和5年度に行った資料の特別利用許可（資料熟覧・撮影）は15件。詳細は以下のとおり。

目加田家寄贈資料

資料名	点数	利用者	使用目的
支那現代文講習テキスト	1冊	個人	研究のため
支那現代文講習テキスト	1冊	個人	研究のため
支那現代文講習テキスト	1冊	個人	研究のため
北平日記	8冊	個人	研究のため
元号案原稿	1式		
福岡女子大学第二回卒業アルバム内の写真	2点	福岡女子大学百年史編纂室	『福岡女子大学百年史』掲載のため
福岡女子大学文学部国文学科第三回卒業アルバムの寮関係写真	10点		
福岡女子大学文学部国文学科第五回卒業アルバム内の写真	1点		
福岡女子大学文学部国文学科第八回卒業アルバム内の写真	2点		

竹田家文書

資料名	点数	利用者	使用目的
『筑前国続風土記』	31冊	NHK 北九州	報道のため
中世史料	129点	個人	研究のため
竹田家系図	29点		
中世史料	129点	東京大学史料編纂所	研究のため
竹田家系図	29点		
古書・抜書（定直）	45点		

8-3 資料の貸出

出土遺物

令和5年度に行った出土遺物貸出しは1件。詳細は以下のとおり。

資料名	点数	貸出先	使用目的
牛頸須恵器窯跡出土ヘラ書き須恵器	3点	くまもと文学・歴史館	特別展出展

歴史資料

令和5年度に行った歴史資料貸出しは1件。詳細は以下のとおり。

資料名	点数	貸出先	使用目的
『黒田家譜』巻十二	1点	刈谷市歴史博物館	特別展出展

画像資料

令和5年度に行った画像資料貸出しは24件。詳細は以下のとおり。

資料名	点数	貸出先	利用目的
水城跡・大野城跡(空撮)	1点	(株)旺文社	『2024年度受験用全国高校入試問題正解社会』への掲載
	1点	(株)ベネッセコーポレーション	(株)ベネッセコーポレーション発行の教材(2023年度最新入試過去問徹底解説 下巻 10月号、2024年度・2025年度入試過去問徹底解説 上巻 8月号)への掲載
白木原ベース通り	1点	大野城市民劇団迷子座	迷子座定期公演のチラシ・パンフレットへの掲載
水城跡(空撮)	1点	個人	『邪馬台国の謎を解く』への掲載
水城の構造	1点		
木樋	1点		
水城跡(空撮)	1点	(株)ベネッセコーポレーション	(株)ベネッセコーポレーション発行の教材(2024年度Challenge 社会 4月号)への掲載
白木原ベース通り	2点	白木原商店会	白木フェスティ原ポスター、チラシへの掲載
白木原商店街	4点		
大野城跡(百間石垣)	1点	クラブツーリズム(株)	クラブツーリズム(株)のお城巡りコースホームページへの掲載
梅頭窯跡	1点	(株)有斐閣	『はじめて学ぶ考古学 改訂版』への挿図
王城山古墳出土の壺 (C5号墳)	1点	(有)海鳥社	西谷正著『東亜考古学論攷』への掲載
王城山古墳出土の壺 (C11号墳)	1点		
水城跡・大野城跡(空撮)	1点	(株)ベネッセコーポレーション	(株)ベネッセコーポレーション発行の教材(2024年度受験Challenge 9月号)への掲載

資料名	点数	貸出先	利用目的
水城跡・大野城跡(空撮)	1点	(株)ベネッセコーポレーション	(株)ベネッセコーポレーション発行の教材(2024年度受験レッスン(デジタル教材))9月号への掲載
善一田古墳群	1点	個人	明和地所株式会社「クリオ大野城駅前マンション」ホームページ内への掲載
大野城跡(空撮)	1点		
水城跡・大野城跡(空撮)	1点		
大野城跡(百間石垣)	1点	クラブツーリズム(株)	クラブツーリズム(株)のお城巡りコースホームページへの掲載
1961年の白木原ベース通り	1点	個人	授業で使用
大野城跡(空撮)	1点	中央地区コミュニティ運営協議会	「中央地区コミュニティまちづくり計画」冊子表紙への掲載
水城跡・大野城跡(空撮)	1点	(株)ベネッセコーポレーション	(株)ベネッセコーポレーション発行の教材(2024年度入試過去問徹底解説上巻8月号佐賀)への掲載
心のふるさと館外観	1点	NHKエンタープライズ九州支社	テレビ放送NHK総合「はっけんTV」にて心のふるさと館を紹介
白木原ベース通り(カラー)	1点	テレビ西日本	テレビ西日本「報道ワイド記者のチカラ」の「マイニチ出口調査」にて、西鉄白木原駅周辺の歴史を紹介
センダンの木	1点	福岡県工業技術センターインテリア研究所	ワンヘルス事業のPRのために福岡県庁内で使用する資料への掲載

9 文化財調査・整備

9-1 文化財の調査

令和5年度の発掘調査は5地点で実施。詳細は以下のとおり。

調査名	所在地	期間	調査面積	調査成果等
小田浦窯跡群I地区調査	牛頸1丁目	令和5年 6月9日(金) ～3月6日(水)	185㎡	1～4号窯跡を調査し、3号窯跡が牛頸須恵器窯跡で最大級の規模であること、窯は3号、4号、1号、2号の順で操業されたことが判明した。

調査名	所在地	期間	調査面積	調査成果等
本堂遺跡 第19次調査	上大利 2丁目	令和5年 10月17日(火) ～12月26日(火)	66㎡	奈良時代以前の溝2条と奈良時代～中世の溝1条を確認し、土器類のほか、土馬、種子などが出土した。溝の用途は不明だが、周辺に集落などが広がると考えられる。
川原遺跡 第5次調査	仲畑 4丁目	令和5年 11月1日(水) ～令和6年 1月25日(木)	800㎡	奈良時代以降の方位がそろった側柱建物1棟、総柱建物2棟のほか、飛鳥～平安時代の土坑、溝などを確認した。これまで不明瞭であった古代の様相が判明した。
特別史跡 水城跡 第67次調査	下大利 3丁目	令和5年 11月15日(水) ～令和6年 3月16日(土)	200㎡	水城に埋設されていた木樋は、上成土塁・下成土塁のいずれにおいても12世紀以降に大規模に抜き取られたことが確認された。
村下遺跡 N地点調査	筒井 1丁目	令和6年 2月2日(金) ～令和6年 4月2日(火)	310㎡	弥生時代後期後半の平行する大規模な溝3条、土坑1基を確認し、土器が出土した。本調査地南東側で集落が存在しており、集落を区画する溝である可能性が考えられる。

令和5年度の文化財調査報告書は9冊を刊行。詳細は以下のとおり。

題名	
第211集 瑞穂遺跡6	第216集 村下遺跡7・松ノ木遺跡・牛頸本堂遺跡群10
第212集 国分田遺跡2	第217集 平野遺跡2・牛頸塚原遺跡2・牛頸日ノ浦遺跡群2・牛頸屏風田遺跡2
第213集 後原遺跡7	第218集 牛頸後田窯跡群3
第214集 宝松遺跡3	第219集 大野城市の戦争遺産1
第215集 谷川遺跡3	

※発行日は全て令和6年3月31日。

令和5年度のその他調査・照会等

試掘調査	埋蔵文化財照会	遺物保存処理
45件	1,375件	善一田遺跡第4次調査出土金属製品 (鉄刀・鉄鏃・馬具) 10点

9-2 文化財の整備

令和5年度に行った史跡整備関連事業等は4件。詳細は以下のとおり。

事業	内容
水城跡保存整備事業	中央エリアにおいて土塁上の樹木の伐採、剪定を実施。 (仮称) 欠堤部外濠広場整備に向けて測量・実施設計を実施。
牛頸須恵器窯跡保存整備事業	平成26年度に作成した「牛頸須恵器窯跡整備基本設計」の一部見直しを実施。
水城跡災害復旧事業	令和5年7月10日の大雨で一部毀損した2か所について復旧工事を実施。
大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画・大野城市歴史文化基本構想 中間見直し事業	平成31年度に策定した基本計画について、令和5年度までの取組の進捗状況と成果を検証し、後期計画の取組の見直しを実施。

10 施設管理

10-1 I P M管理

※Integrated Pest Management (総合的有害生物管理)：薬剤を用いずに害虫や菌類を駆除する方法。

令和5年度、心のふるさと館では館内のI P M管理について以下のとおり実施した。

令和5年度取組	内容
温湿度管理	データロガーの設置による展示ケース等の温湿度情報の継続計測
特別収蔵庫及び展示ケース内の環境管理	定期的な温湿度計測及び害虫調査、パッシブインジケーターを使用したケース内の有機酸及びアンモニアの濃度計測、収蔵庫の定期的な清掃、特別展開催後の展示ケースの清掃。
燻蒸 (害虫及び菌類を薬剤を使用して駆除する)	・使用薬剤：エキヒュームS 寄贈資料(竹田家文書)：令和5年6月28日(水)、6月30日(金) ～7月4日(火) 寄贈資料(竹田家文書)：令和5年9月16日(土)、9月26日(火) ～10月2日(月)
保存環境調査	令和5年度秋季特別展に向けた国指定文化財の借用公開に係る保存環境調査を実施。
害虫トラップ調査等	館内72か所に害虫トラップを設置、毎月1回計測。その他、侵入した害虫等を捕獲・記録し、必要に応じて対応。
その他	職員及び展示業務に従事する委託者の室内履きの徹底、収蔵庫専用履物の設置、防塵マット・ドアブラシの設置、生花・動物・虫等の持込み制限(生花のみ、やむを得ない場合は袋等で包む対応)、2階及び3階の展示エリアでの飲食禁止等の徹底、収蔵エリア等の定期的な清掃を実施。

10-2 危機管理

自衛消防隊として非常時に迅速な初動と的確な活動を行うため、職員による火災を想定した総合避難訓練を実施。

開催日：令和5年10月16日（月）

訓練内容	
講義	・自衛消防隊の編成と任務について ・消防設備について ・避難誘導の要領・避難の際の注意点について ・電気火災について
消防設備の確認 (1階～3階)	・消火設備の位置確認 ・消火設備の誤作動とその解除方法 ・ハロゲン化物消火設備の操作方法 ・防火戸・防火シャッターの操作方法 ・消火栓の放水訓練（1階・授乳室前消火栓 ⇒ 駐車場前にて放水）
複合火災受信設備・非常放送設備の操作方法 (1階・事務室)	①複合火災受信設備の操作 ②非常放送設備の操作 ・消防署への通報、館内アナウンス ・作動中の消火設備の確認 ・誤作動による異常なしの場合の解除方法と館内アナウンス

【訓練テーマ】

- ① 全職員が、心のふるさと館自衛消防隊の一員であることの自覚を持つ。
- ② 全職員が、消防設備の位置と操作方法を体得する。
- ③ 全職員が、火災発生時のそれぞれの役割を理解する。

11 統計

11-1 施設利用状況

(1) 令和5年度月別入館者数等

月	入館者		ふるさとラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	入館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
4月	26	6,774人	795名	14	369人	6	876人
5月	26	8,466人	1,272名	16	309人	26	3,529人
6月	26	10,000人	735人	11	251人	16	3,214人
7月	26	11,312人	1,984人	13	359人	10	3,016人
8月	27	20,213人	4,344人	16	438人	27	14,182人
9月	26	13,953人	3,397人	11	299人	3	3,583人
10月	26	7,667人	1,730人	11	253人	7	213人
11月	26	8,484人	1,414人	11	244人	26	1,135人
12月	24	8,267人	1,913人	10	164人	15	860人
1月	23	5,248人	1,237人	10	145人	0	1,355人
2月	25	5,565人	1,470人	9	211人	0	2,723人
3月	27	5,710人	1,454人	13	264人	0	1,589人
合計	308	111,659人	21,745人	145	3,306人	136	36,275人

(2) 累計入館者数等

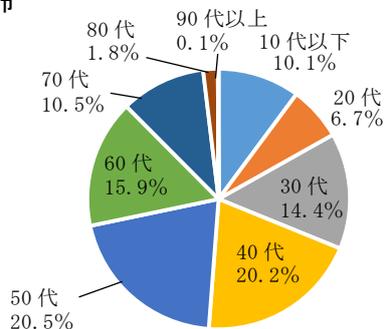
年度	来館者数		ふるさと ラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	来館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
平成30年度	210	73,642人	6,829人	84	1,322人	160	8,762人
平成31年度	276	98,980人	12,130人	102	1,906人	168	19,870人
令和2年度	264	43,794人	4,864人	104	1,711人	98	9,080人
令和3年度	239	43,314人	7,676人	118	1,495人	123	5,451人
令和4年度	303	85,779人	16,585人	163	3,082人	200	16,323人
令和5年度	308	111,659人	21,745人	145	3,306人	178	36,275人
合計	1,600	457,168人	69,829人	716	12,822人	927	95,761人

※平成30年度は7月開館以降の数値。ふるさとラボ入場者数は、平成30年8月以降の数値。

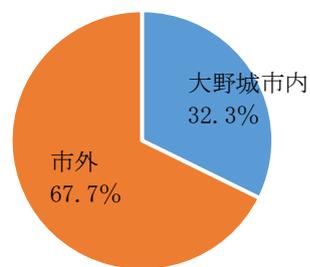
11-2 来館者アンケート

令和5年度アンケート結果は以下のとおり（未回答除く）。 回収件数：3,275件

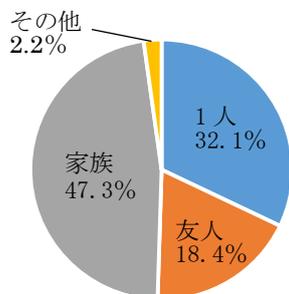
年齢



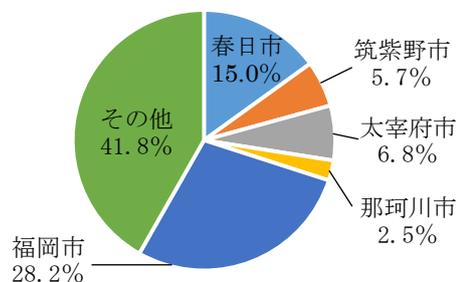
どこから来られましたか



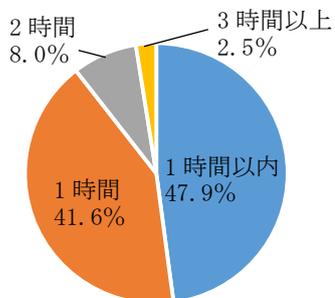
誰と来られましたか



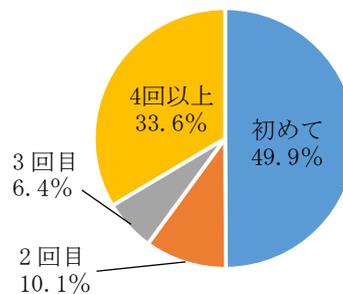
市外の内訳



館内利用時間



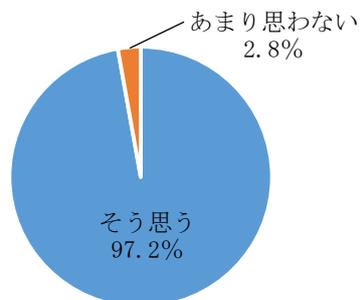
来館回数



スタッフの対応



また来館したいか



大野城心のふるさと館年報 2023

令和6年8月発行

編集・発行 大野城心のふるさと館

〒816-0934 福岡県大野城市曙町3丁目8番3号

TEL : 092-558-5000 FAX : 092-558-2207

<https://www.onojo-occm.jp/>

—歴史と、まちと、人と、想いと—
「つなぐ、つながる。」

市民ミュージアム



大野城心のふるさと館

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

ANNUAL REPORT
OF
Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum
2023